

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 陽 楽

目標達成計画書

作成日: 令和 3 年 9 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	ホームからの報告が中心の会議となっている。参加委員の増員やテーマを決めた会議の開催等、今後の会議の発展に向けて検討し取り組んでいく。	薬剤師や歯科衛生士、公民館館長、元家族、他グループホーム管理者等、参加委員を増員し、薬について、口腔ケアについて等、ミニ勉強会を行ったり、地域の困り事の解決に向けて話し合う等、ホームと地域、双方の発展に繋がる会議を目指していく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取組み	コロナ禍の中で、毎日利用者の健康管理と、心のケアに取り組んでいる職員一人ひとりが、ストレスで、身体も心もゆとりが無くなっているため、職員のストレスチェックに取り組んでいく。	管理者と個人面談を頻繁に行い、職員の悩みや要望を聴き取り、勤務体制や職場環境の見直しを行い、職員一人ひとりがゆとりを持って、仕事ができる体制を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。